

公益社団法人

行田青年会議所新聞



公益社団法人 行田青年会議所

VOL.161

発行所 (公社)行田青年会議所
〒361-0077 行田市忍2-1-8
TEL 048(556)4115
FAX 048(556)6562
E-mail info@gyoda-jc.or.jp
URL http://gyoda-jc.or.jp/
発行日 2024年1月1日
発行人 理事長 橋本 兼一
印刷 三共印刷株式会社
編集人 まちづくり・広報委員会

目指せ!
全国大会
青年会議所主催の
サッカー大会



行政や団体を
交えて
行田市の未来を
考える会議を
開催



行田青年会議所とは?

青年会議所は、20歳から40歳までの

志高き青年たちが

地域への「奉仕」を通して、自分自身を「修練」し、

他では得ることの出来ない「友情」を培う

三信条のもと、「明るい豊かな社会」

の実現を目指す青年団体です。

HAPPY
HALLOWEEN
自分達で作った
ランタンで
点灯式



新たな発想を
創出!
最新技術の
ドローンを使った
事業



創立60周年
事業
子ども達の豊かな
感性を育む
運動



2024年度 公益社団法人 行田青年会議所 メンバー紹介

《役員》 互譲互助

～思いやりの心が、明るい未来をつくる～



理事長
橋本 兼一
割烹 魚豊



直前理事長
新井 雅也
(株)中建材工業



副理事長
大野 泰希
大野建設(株)



副理事長
塩田 和彦
申焼 和



顧問
小林 亘
(株)巨成興業



監事
仁平 悟史
(南仁平商店)



外部監事
大谷 祐一
三共印刷(株)



専務理事
徳田 歩樹
(福)橙 明日葉

【会員・組織拡大委員会】 チャレンジアンドカー

～ひとつのチームへ～



委員長
神田 直起
(株)カンダスタジオ



副委員長
植松 瞬
無国籍料理 かもん



副委員長
中澤 俊裕
(一社)地域支援協会



委員
新 諒平
行田市議会議員



委員
井桁 宗明
長久寺



委員
大河原 海斗
(学)北埼玉園 南河原幼稚園



委員
小坂谷 鷹
ひまわり鍼灸整骨院・整体院



委員
児玉 峰
タツミ圧接(株)



委員
長澤 亜斗夢
SAMクリーン(株)



委員
間宮 恭兵
(株)三協通信

【まちづくり・広報委員会】 拡げる!共助の輪

～十人十色が輝くまち～



委員長
加村 行則
(株)リンクステーション



副委員長
小林 直人
(株)ライフスマイル



副委員長
三島 彬裕
松坂屋建材(株)



委員
木口 謙太郎
行政書士 木口法律事務所



委員
酒井 惇一郎
酒井商事(株)



委員
島崎 充功
島崎木材(株)



委員
中田 竹之
中田自動車



仮入会員
清水 孝資
メディケアクラウド(株)



仮入会員
野口 智教
行政書士 野口智教事務所

【行田の未来特別会議】

明るい未来を
掴むために前へ

議長
新井 雅也 (兼)
副議長
小林 直人 (兼)
中澤 俊裕 (兼)

新入会員・賛助会員大募集!

(公社)行田青年会議所は明るい豊かなまちづくりを目標に自己成長が出来る団体です。20歳～39歳の青年なら誰でも入会できますので、興味があればまずはご連絡ください!仮入会期間の3ヶ月は会費も無料!また、私たちの運動を応援して下さる企業様、個人様の賛助会員も募集しています!担当: 会員・組織拡大委員会委員長 神田直起 TEL: 080-1208-0372

<http://gyoda-jc.or.jp/>

アンケートのご協力をお願いいたします。



行田青年会議所 検索

御礼の挨拶



直前理事長
新井 雅也

旧年中は、公益社団法人 行田青年会議所の運動・活動に對しまして多大なるご支援とご協力をいただきましたことに心より御礼申し上げます。昨年度は、「志・覚悟ある行動が未来をつくる」をテーマに掲げ、固定観念にとらわれることのない柔軟な発想で、世代間の価値観を融合させることのできる多世代を巻き込んだ事業を構築し、まちの課題に対して「我が事として行動するための志」を生み出すために一年間運動を進ませていただきました。多大なるご協力、ご理解をいただきました関係各所団体の皆様、市民の皆様にお礼の言葉と感謝の気持ちを伝えさせていただきます。今後も「明るい豊かな社会の実現」に向けて、青年会議所にしか出来ないまちづくり運動に覚悟を持って取り組んで参りますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご じょう 互 譲 互 助

～思いやりの心が、明るい未来をつくる～

2024年度（公社）行田青年会議所 基本計画

— 基本理念 —

互 譲 互 助

～思いやりの心が、明るい未来をつくる～

— 基本方針 —

1. 70周年に向けた長期ビジョン達成のための取り組み
2. 会員拡大及び研修による会員の資質向上
3. お互いを尊重しあう思いやり溢れるまちの創造
4. 多様な個性を持つメンバーが同じ方向性を向いた強固な組織の運営
5. 行田青年会議所の運動を周知させるための広報活動
6. 出向者への支援及び対外JCとの交流

プロフィール

（公社）行田青年会議所

第62代理事長 橋本兼一

生年月日 1986年1月5日

勤務先 割烹 魚豊

2012年 入会

2016年 覇気溢れる拡大研修委員会 委員長

2017年 財政局長

2022年 会員拡大・研修委員会 副委員長

2023年 副理事長

2024年 理事長



第62代理事長

橋本兼一

はし もと たか いち

様々な価値観を生み出している現代社会において、人との繋がりがより重要になってきていると感じています。なぜなら自分とは違う価値観や考え方に触れることで世界は広がり、その繋がりの中で、他の人のことを考えられる「思いやりの心」は育まれていくからです。そしてお互いを思いやる中、多様な人の考えに向き合い社会問題への意識を持つこと、共に手を取り合って課題を解決していくことで、明るいまちの未来に繋がると考えます。

結びに、未来を担う子どもたちや若者、同じ志を持った仲間や支えあう家族、愛するまちのために行動する地域の方々。多様な個性が調和しそれぞれがお互いを思いやり行動する「明るい豊かな社会」の実現を目指し、邁進し続けます。地域の皆様のご協力、どうぞよろしくお願い申し上げます。

60周年長期ビジョン 「彩」推進宣言

コンセプト

彩

～いろどり～

ひとの輝きが照らす未来

基本理念

私たちが多世代の懸け橋となり
ひとの多様な個性と 行田の誇りを活かして
未来へつながる「彩りあるまち」を創造する



新春対談

社会福祉法人健翔会

渡辺真一氏

× 橋本兼一

第六十二代（公社）行田青年会議所 理事長

眼ごやんごしん

理事長…本日は、御対談の機会をいただきましてありがとうございます。行田青年会議所の2024年度のテーマが互譲互助！思いやりの心が、明るい未来をつくる。となっており、互譲互助の精神は、日本人がもともと遺伝的に持っているもので、災害が多い国、農耕民族という点で、助け合い・支え合う心が昔から受け継がれているので、その心を今一度呼び覚ますことが必要だと考えます。最近色々なニュースを見ていて、そういった思いやりが欠けているから起こる事件が多いと思います。それを考えると、お互いを思いやる気持ちを大前提として、その為に何が必要かと考えたのが人との繋がりで、多種多様な人と付き合う中で価値観を学んでいきたいと思っています。

渡辺氏…私共の法人では入社試験をしており、内容は専門知識と一般常識と作文です。作文のテーマは毎回「思いやり」としており、15年くらい実施しております。

人それぞれ色々な思いやりの考えがありますが、自身は「思い」と「思いやり」というのは全くの別物と考えています。

思いというのは、助けてあげたいという気持ちやみんなと何かしたいなどのまだ考えている最中であり、思いやりというのは活動や運動で行動に繋がる手を差し伸べる行為と考えると、車いすの人がいれば、押してあげたいと思うのは思いで、手伝いましょうかなど声を掛けてあげることが思いになると考えています。

また、職員の作文の話ですが、その考えがごちゃごちゃになっていて、思いなのか思いやりのかがまだはっきりしてない人がいます。そういった人にはぜひ行動に移してほしいと伝えています。思いを行動に移すが行田が増える良いまちに繋がっていくと考えています。

理事長…そうですね。思いは見えないですが、思いやりは見えないというのが私も考えているところです。思いやりになることで、見える部分が出てきて、その中には優しさや厳しさがあります。青年会議所としてもまちづくりをする上で、一人ひとりの修煉の場と捉え

新年あけましておめでとございます。旧年中は、私たちの事業・運動に多大なるご支援とご協力を賜り誠にありがとうございました。本年度も引き続きご愛好賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

（公社）行田青年会議所は1962年に設立され、おかげさまで本年度62年目を迎える事となりました。今、私たちがこうして運動を続ける事が出来るのも「このまちのため」を思い、まちづくりに取り組んで来られた先人たちのおかげであります。責任世代である私たちは、これらのことに感謝し、魅力ある行田を次の世代へ託せるよう運動を展開していく所存でございます。

2024年度は、青年会議所のビジョンである「明るい豊かな社会の実現」に向け、「互譲互助！思いやりの心が明るい未来をつくる」を理念に掲げ、運動を展開して参ります。日本人のアイデンティティの中に連綿と受け継がれている、お互いの立場を尊重し譲り合い助け合う「互譲互助の精神」を呼び覚まし、誰かのために行動できる「思いやりの心」を地域に広げていくことが、明るいまちの未来に繋がると確信しております。

様々な価値観を生み出している現代社会において、人との繋がりがより重要になってきていると感じています。なぜなら自分とは違う価値観や考え方に触れることで世界は広がり、その繋がりの中で、他の人のことを考えられる「思いやりの心」は育まれていくからです。そしてお互いを思いやる中、多様な人の考えに向き合い社会問題への意識を持つこと、共に手を取り合って課題を解決していくことで、明るいまちの未来に繋がると考えます。

結びに、未来を担う子どもたちや若者、同じ志を持った仲間や支えあう家族、愛するまちのために行動する地域の方々。多様な個性が調和しそれぞれがお互いを思いやり行動する「明るい豊かな社会」の実現を目指し、邁進し続けます。地域の皆様のご協力、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



社会福祉法人健翔会
統括マネジャー 兼 大地管理者
渡辺 真一氏

障害福祉サービスとして、生活介護事業所、放課後等デイサービスなどを運営しております。地域に根差したサービスを展開されており、思いやりの心を持って利用者様と接しております。

渡辺氏…そうですね。相手にこうなって欲しいという理想があり、それを達成するために行動することが思いやりですね。きっと障害を持つ方にもすべてに手を貸すわけではなく、手を引いたりすることも相手も思っている思いやりがあると思います。

渡辺氏…障害の施設を運営しているので、独居老人の方や一人で住んでる人は直接的には無縁なんです。障害のある人達のお世話をしている。その人達は基本的に家から通ってきている状態です。お話をし届けるということをしています。直接的に関係はないですけど福祉はちょっと幅広い目で見るとやはり繋がりが無いといけないんです。最近、あの方見ないよねという会話が地域には必ず必要だと思っています。

地域交流や繋がりがあがる社会（まち）の 必要性について

行田市のごみ回収で高齢者の方は、なかなかゴミ出しに行くのが大変だったので、家の前に出しておくと運んでくれるサービスがあるんです。そういうサービスを地域の中で上手く活用してもらい、ゴミ出しを手伝ってくださるみたいなのが地域の中であそこのは高齢者の方・障害がある子がいてねという会話が生まれて、今度こんなお祭りがあるから誘ってみようかなという流れができてくるんじゃないかなと思います。仕組みみたいなものがないと自然とは繋がりは生まれにくく、繋がりが無いと暮らしにくくなるんじゃないかなと思います。

理事長…そうですね。繋がりがないと、地域の事業にも参加しづらいと思います。繋がりたいと思ってもどんどん疎遠になってしまっています。

渡辺氏…地域としても参加して欲しいので、是非思いやりの行動として声を掛けてほしいです。一緒にやってみませんかのような、こちらから声を掛けることが重要で、相手が結構ですと言うのも相手の気持ちや考えもあるので無理強いをさせずに声を掛けたかが重要だと思います。繋がりを切らない関係が作れば、きっと住みやすいまちになると思います。

私の娘も車椅子ですけど、小さい頃から毎週スーパーに買い物と一緒に行ってたんです。そうすると全く知らない人からよく見るよ、風邪ひいてないかい？と声を掛けてくれたり、お菓子をくれるんです。ただスーパーに行くだけなのに温かみを感じてます。非常に楽しいし、本人もウキウキしているんです。明るい社会ですよ。

理事長…きっとそれも思いやりで、皆が思っていることだと思えます。声を掛けたいと思って温かい目で見ているけど、声を掛ける行動に移せていない方が多いのだと思います。

渡辺氏…繋がりのあるまちは、思いやりの行動が上手く機能している豊かなまちになると思います。単純ですけど、声を掛けることが非常に大切だと考えます。

お互いを認め、尊重しあえる社会について

渡辺氏…心のゆとりと心の健康が自分自身にないと相手も思いやる事ができないと思います。時間が無くて焦って、朝の時間帯に子どもが泣いていると叱っちゃうなどは自分自身の時間と心の健康が壊れていて、ゆとりがないという状態からそのような行動に出てしまっているんです。なので、いかに自分が健康でゆとりがあるかが周囲を気に掛ける・声を掛けられるという優しさに繋がることがないかなと思います。

理事長…個人主義とお互いを思うことは別に仲たがいないと思えます。個人主義として自分が成長してちゃんとした自律性を持った中でお互いに分かり合える。個性や多様性の理解となると先ずは自分を持つことが大事だと思います。

渡辺氏…俯瞰（ふかん）って良い言葉で相手の立場になって考えるときに相手の立場は立場で自分ではないので、俯瞰的に見ると実は二人とも端に寄ってたりするんです。相手のことを考えたり第三者の目線でこそ言わずに大きく上から見た方がいいなと思います。それがきっと多様性に重要なんだと考えています。上から見るとこんな人やあんな人がいるよねという広い視野で捉えることで、多様性も認められると思います。

理事長…まちづくりを行う団体、青年経済人という立場でも、俯瞰的な視点を持ち、関わっていただく皆さんの意見が尊重された社会を作っていくべきだと思います。